

作成日：R7年9月12日

令和7年度第6回 高松圏域自立支援協議会 運営会議議事録

日付	令和7年9月12日(金)
時間	9:20~10:50
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター研修室
参加機関等	香川中部支援学校、高松支援学校、直島町住民福祉課、地域活動支援センタークリマ、ヒトコ、障害者地域生活支援センターほっと、相談支援事業所ライブサポートセンター、障害者生活支援センターたかまつ、地域生活支援センターこだま、障害者生活支援センターあい、一般社団法人garyu、一般社団法人ええる、相談支援センターりゅううん、自立ケアシステム香川、社会福祉法人ナザレの村、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 USK アドバイザー派遣：障害者生活支援センターましみず 順不同 計18名 ※他、相談支援専門員現任研修インターバルとして、2名が参加。

議題1:各部会活動報告

議事	<各部会の報告> ○精神保健福祉部会 ランコントルのイベントを開催し、50名程度の参加があった。全員が自己紹介をするイベント。 ○居宅サービス事業所部会 映画上映会に向けての準備を進めている。 ○就労支援部会 就労選択支援事業について高松市と協議している。10/1から3事業所が事業を開始する。来年度から新たに2事業所が実施する予定。中部支援学校については、次年度については現時点では未定。大川圏域がモデルケースとなっている。高松も大川圏域のモデルケースを通して具体化していく予定。選択支援事業所が学校に訪問する形のやり方になるのではないか。どの学年で実施するのも検討中。今月もう1回実施する予定。次回の運営会議
----	--

	<p>でとりまとめたものを共有する予定。</p> <p>※専門性の担保が必要だと思われる。事業所毎に差が出てしまうのは避けた方が良く、質の担保に向けた取組みが必要だと思われる。</p> <p>→就労選択支援事業については研修受講が必須。事業所毎にアセスメントの取り方に差があるといけないという状況がある為、アセスメントシートを作成し共有している。</p> <p>→アセスメントシートは県内全域で共通の様式を使用した方がよいだろう。</p> <p>※相談支援専門員が活用する共通のアセスメントシートと同じような扱いが望ましいのではないかと。</p> <p>→利用者のニーズ、アセスメントをしっかりとすることがこの事業の目的であり、このアセスメントを関係者で共有し、将来に向けた支援に繋げていく。</p> <p>○B 型事業所部会</p> <p>現場職員向けの座談会を実施。参加人数が少なめであったが GW でじっくりと話し合いができた。</p> <p>下半期には事業所見学会、管理者向けの座談会を開催予定。より顔の見える関係性を作っていくような内容を企画している。</p> <p>○医療的ケア部会</p> <p>行政主催の連絡会を今後も実施する予定である。学童保育にも看護師が配置されるようになり、そちらから繋がるケースも生じている。インフォーマルな資源との繋がりも少しずつ広がってきている印象をうける。</p> <p>難治性てんかんであったり、低血糖への対応の可否は事業所判断になっているところが課題となってきた。</p>
--	---

<p>議題 2： 部会の再編について</p>	
<p>議事</p>	<p>別添資料参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア部会については、協議の場の設置が必須である為、どこをその場とするのか。関係者を拡げて連絡会という特化した場は必要ではないか。 ・“委員会”があれば、もうすこし活動しやすいイメージ。大枠でくくった中により具体的な委員会があるとよいのではないかと。 ・専門的な支援が必要な場合の SV が数種類あってもよいのではないかとと思われる。 ・参加促進のためのメリット化がなにかあると良いのではないかと。 ・ニーズをキャッチする形として事務局、委託相談支援事業所、中核拠点などで整理をする場をもつ等、どの障がいについてもニーズをキャッチする場をもつのは必要ではないか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・共通した課題については運営会議の場が出た課題について共有し、必要なタイミングでワーキングの設置などについて検討することで対応出来るのではないか。
議題 3： 高松支援学校より情報提供	
議事	<ul style="list-style-type: none"> ・ある事例をもとに高松支援学校の取組みを共有した。 ・困っていることを福祉と教育で共有しながら、一緒に対応を考えることができるような関係性を構築していくことができると良いと感じた。
議題 4： 香川県自立支援協議会	
議事	<p>初任者研修の申し込み 37 名 主任相談支援専門員研修受講者 4 名が決定</p> <p>相談支援基礎講座を開催し、基本的な内容について講義した。相談支援専門員を知ってもらう目的と、初任者研修を受講する前に共通の理解を図る目的で実施した。今後はより目的を明確化し継続開催していく。</p>
	8/29 に日中支援型グループホームの評価を実施。

次回は 10 月 10 日（金） 9：20～